

令和 8 年度

仕 様 書

事 業 名： 団体営ため池等整備事業

工 事 場 所： 竹原市 下野町

工 事 名： 瀬戸池洪水調節機能強化工事

工 事 概 要： 布製型枠工 $S=250\text{ m}^2$
流入水路工 一式
洪水吐スリット工 一式
浚渫工 $V=35\text{m}^3$
仮設工 一式

【添付書類】
☐ 特記仕様書
☐ 工事数量総括表
☐ 図面 等

特記仕様書（個別事項）

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、「瀬戸池洪水調節機能強化工事」に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・**農林土木工事共通仕様書（令和4年4月）広島県**
 - ・**土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
 - ・**特記仕様書（共通事項）（令和8年6月）広島県**
- ※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・その他関連規格類

第2節 現場代理人の兼務

現場代理人の兼務については竹原市ホームページに掲載している。
<https://www.city.takehara.lg.jp/soshikikarasagasu/zaiseika/gyomuannai/3/kensetsukonsaru/2/1619.html>

第3節 コリنز（CORINS）への登録

本工事におけるコリنز（CORINS）への登録については、土木工事共通仕様書1-1-1-5及び1-1-2-4 コリنز（CORINS）への登録 によらず次のとおりとする。

受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム（コリنز）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績データを作成し、発注機関確認担当者情報を入力した「事前確認のお願い」をコリنزから監督職員にメール送信し、監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜、コリنزに登録をしなければならない。
登録対象は、工事請負代金額500万円以上（単価契約の場合は契約総額）の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。
また、コリنزが発行する「登録内容確認書」は、コリنز登録時に監督職員にメール送信される。
なお、変更時と工事完成時の間が10日間（土曜日、日曜日、祝日等を除く）に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。
また、本工事の完成後において訂正又は削除する場合においても同様に、コリنزから監督職員にメール送信し、速やかに監督職員の確認を受けた上で、コリنزに登録申請しなければならない。

受注者は、登録作業及び内容確認については次のとおり対応する。
[1]受注者は、工事実績データの作成及び**発注機関確認担当者情報**の入力後、コリنز上で「メール送信で提出」を選択する。
[2]受注者は、[1]によりメール送信された「事前確認のお願い」について監督職員の確認を受ける。
[3]受注者は、コリنزから送信される、確認年月日を明記した「登録のための確認のお願い（監督職員が登録内容を承認した旨のメール）」を確認し速やかに、コリنزへ登録する。
[4]「登録内容確認書」については、コリنزから監督職員にメール送信されるため、受注者による提示は必要ないものとする。

なお、受注者は、「低入札価格調査制度事務取扱要綱」による「低価格入札者」として契約した場合、工事実績情報システム（コリنز）に工事実績情報を登録する際は、「低価格入札である」にチェックをした上で、「事前確認のお願い」を作成し、監督職員の確認を受けること。なお、低入札技術者については主任技術者として登録し、公告等で求める資格を満たすことを確認できる資料を提示すること。

https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/file/corins_koji_gyomu.pdf

第4節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第5節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
- 3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
- 4 工事現場の管理体制
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
 - (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の質質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
(4) 建設発生土の搬出量
(5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 第6節 週休2日適用工事
本工事は、週休2日適用工事（受注者希望型）であり、「竹原市週休2日適用工事実施要領（令和7年6月1日一部改正）」に従うこと。
なお、工事着手までに様式1「休日取得計画表」を記載した施工計画書を監督職員に提出するものとし、対象期間を明確にするため、工事着手と工事完了日を計画表に明記するものとする。

第2章 施工条件

第1節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地）（指定処分（A））
当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。
また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
- 搬出場所 有限会社エス・エス 朝日山残土処分場（竹原市下野町朝日山10661-1）
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。
- 2 コンクリート塊（有筋）（搬出）
当該工事により発生するコンクリート（有筋）塊の処分先については、次の処分先条件を想定している。
- 運搬距離 5.9キロメートル
受入費用 1,800円/t
- 3 コンクリート塊（無筋）（搬出）
当該工事により発生するコンクリート（有筋）塊の処分先については、次の処分先条件を想定している。
- 運搬距離 5.9キロメートル
受入費用 1,500円/t

第3章 布製型枠における注入モルタルの標準配合は次のとおり見込んでいる

配合種別	モルタル 砂比 C:S	水・セメント比 (%) W/C	フロー値 (秒)	単位重量(kg/m3)			注入材料 (m3/100m2)	備考
				セメント C	細骨材 S	水 w		
M-3	1:3	70	18±3	461	1383	323	7.8	フロー値測定 Pレポート

第4章 材料

- 1 資材単価は別紙のとおり見込んでいる。
2 防災型布製型枠は最大厚み100mm、平均厚み65mm（景觀配慮色、フィルターなし）、重量140kg/m2以上を満たすものとする。

第5章 その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
2 施工にあたり、施工時期、施工方法等について市及びため池管理人と十分調整を行うこと。

資 材 単 価 一 覧 表

名 称	規 格 ・ 形 状 寸 法	単位	決 定 単 価	備 考
			採用単価	
あと施工アンカー工事	接着系アンカー D13(材工共)下向打	本	1,336	
あと施工アンカー工事	接着系アンカー D13(材工共)横向打	本	1,551	
簡易床版	T-2 L=2.40m	枚	48,100	567kg
合成樹脂排水材	高密度ポリエチレン管 シングル構造 φ400	m	2,739	損耗率 1ヶ月未満 30%
布製型枠	最大厚み100mm、平均厚み65mm (黒観配慮色、フィルターなし) 重量140kg/m2以上	m2	3,820	防災型 平均厚 t=65mm
モルタル	配合 1:3	m3	28,500	
防草シート	グラスバスター	m2	546	
布製型枠世話人		人	40,500	
コンクリートポンプ車		h	9,100	
小型揚水ポンプ		h	910	
配管工	L=30m	式	72,800	
購入土		m3	1,000	
簡易動的コーン貫入試験	礫混じり土	m	8,530	

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など		規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	備 考
本工事費						
ため池			式		1	レベル 1
堤体工			式		1	レベル 2
掘削工			式		1	レベル 3
侵食防止工			式		1	レベル 3
流入水路工			式		1	レベル 2
作業土工			式		1	レベル 3
流入水路工			式		1	レベル 3
洪水吐スリット工			式		1	レベル 2
構造物取壊し工			式		1	レベル 3
洪水吐スリット工			式		1	レベル 3
仮設工			式		1	レベル 2
仮設道路工			式		1	レベル 3
仮締切・濁水対策工			式		1	レベル 3
直接工事費						
技術管理費						
技術管理費			式		1	レベル 2
技術管理費			式		1	レベル 3

工事数量総括表

頁0 -0002

[illegible]

工事数量総括表

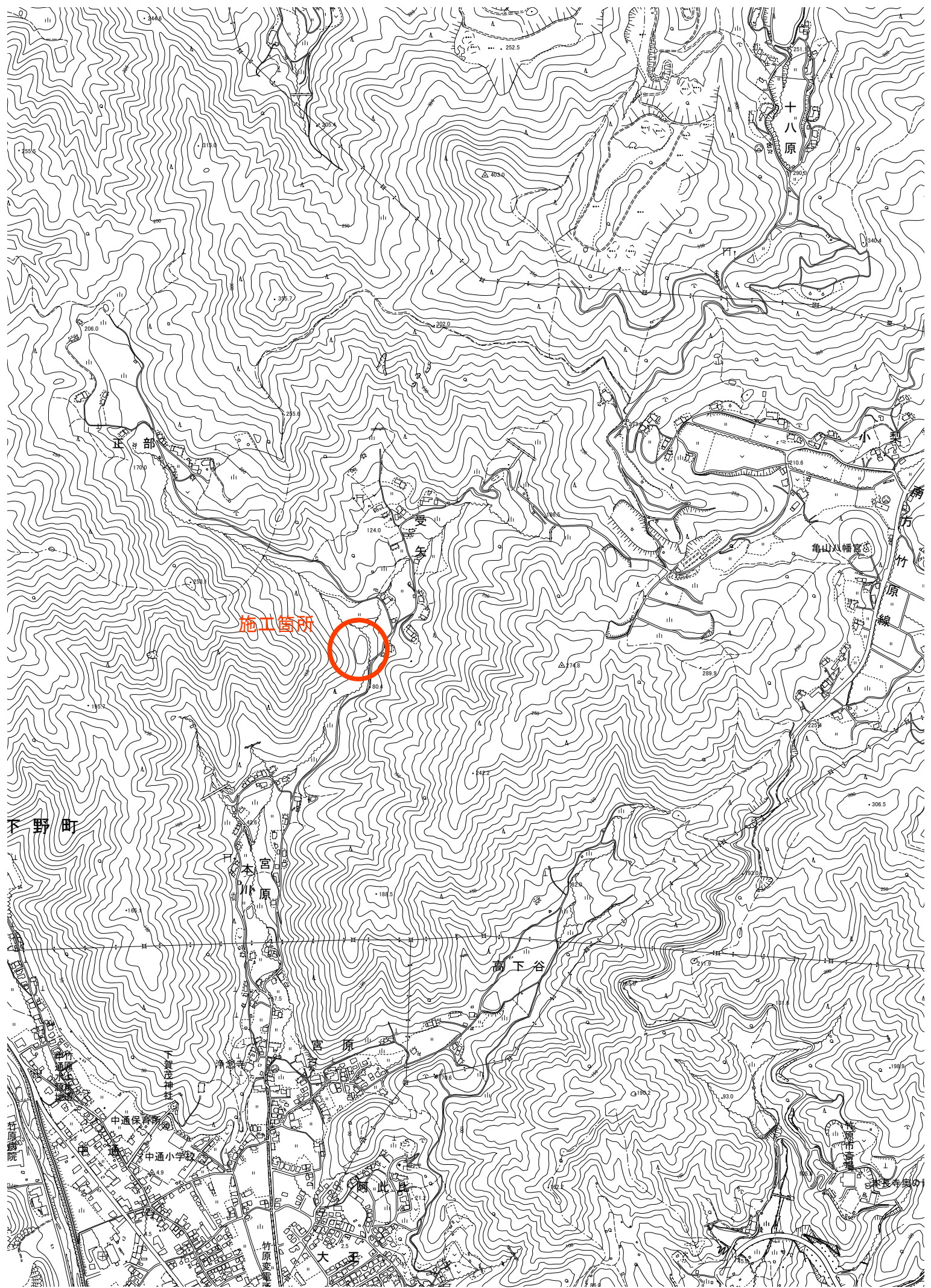
頁0 -0003

費目・工種明細など	規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	備 考
付帯工事					
河川工事		式		1	レベル 1
土工		式		1	レベル 2
掘削工		式		1	レベル 3
土砂掘削		m3		35	レベル 4
直接工事費					
共通仮設費率分額					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税等相当額					
工事費					
＊ ＊ 工事価格計 ＊ ＊					

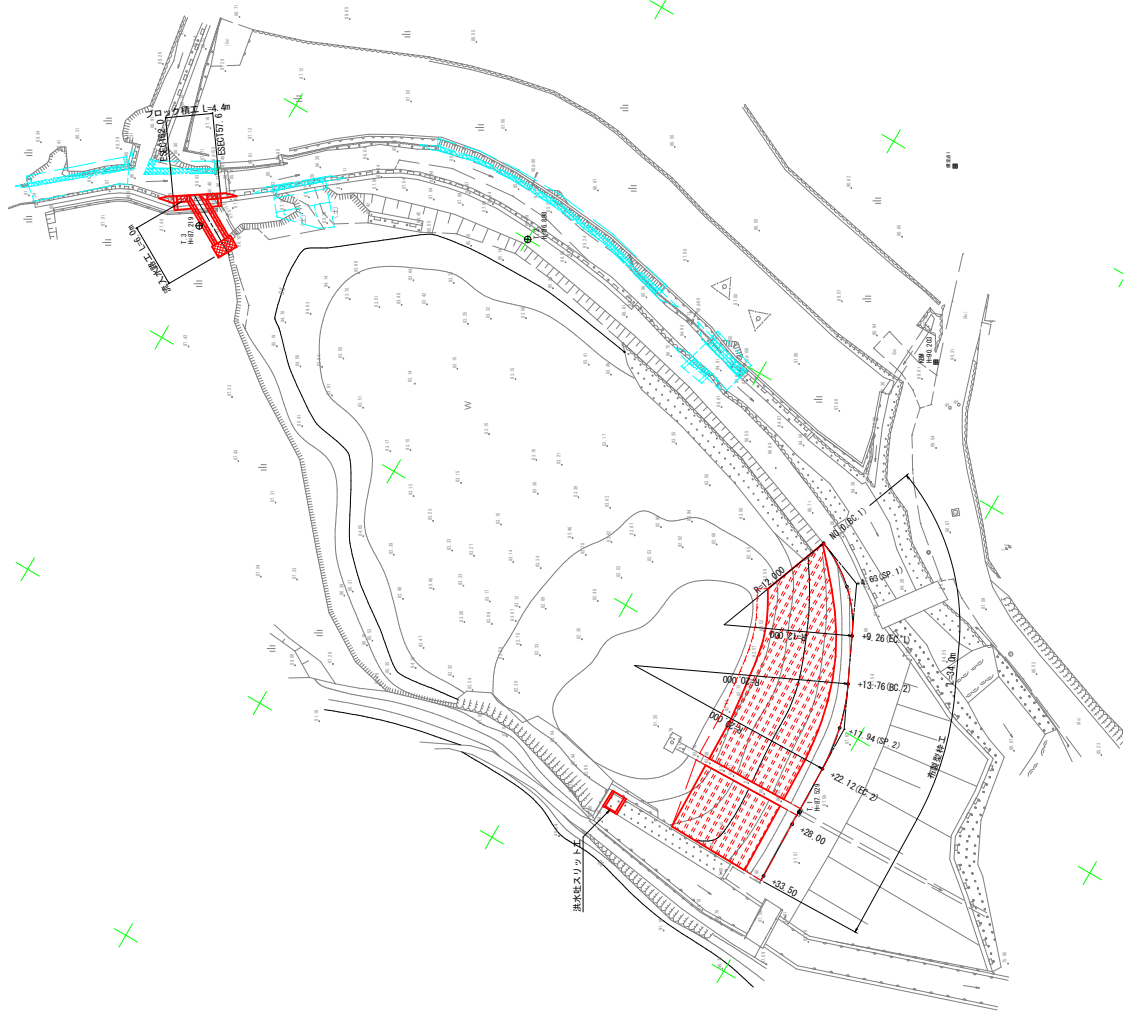
工事数量総括表

頁0 -0004

[illegible]

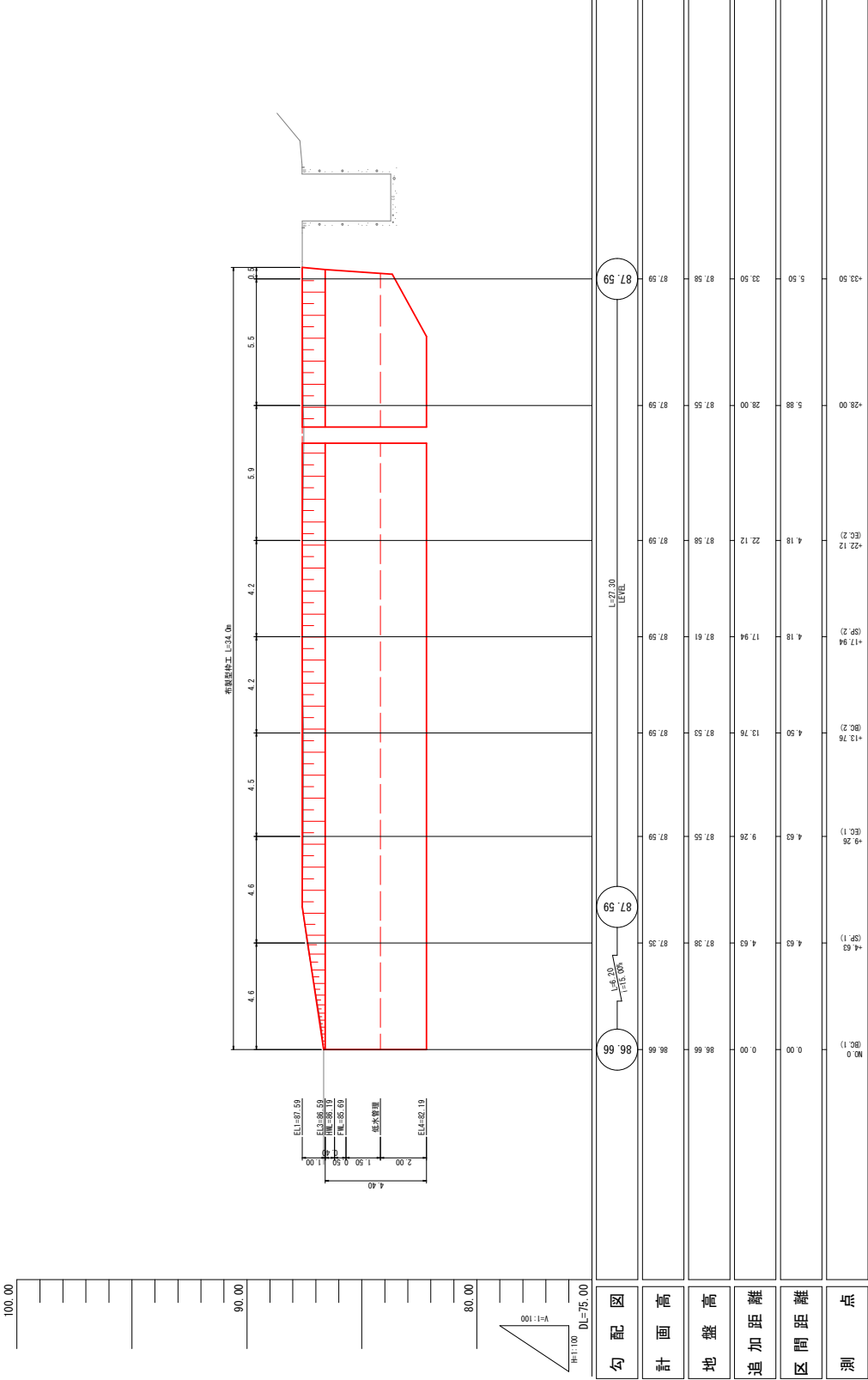


計画平面図



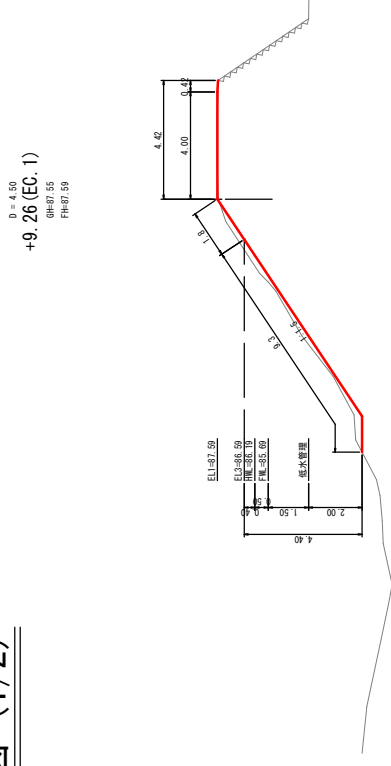
工事名	瀬戸内海沿岸防衛施設工事			
図面名	計画平面図			
作成年月日	令和8年 月 日			
縮尺	1:250	図面番号	1 / 8	
会社名	広島県土木建設事業団体連合会			
担当者名	竹 原 市			

計画縦断面図



工事名	瀬戸内海国立公園環境強化工事				
図面名	計画縦断面図				
作成年月日	令和8年 月 日				
縮尺	V=1:100 H=1:100	図面番号	2 / 8		
会社名	広島県土木建設局環境計画課				
担当者名	竹 原 市				

断面図 (1/2)



控制	0.7
埋炭	1.3
法面整形	9.9

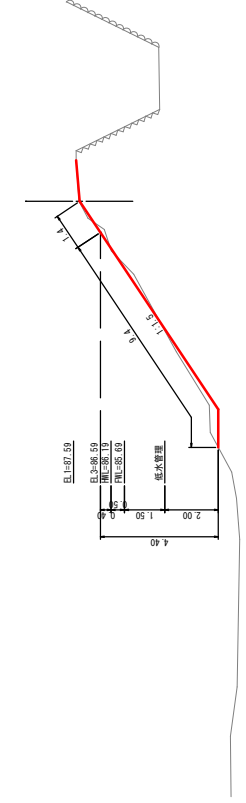
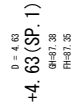
冠劑	1.8
埋展	-
法面整形	11.1

DL=75.00

DL=75.00



現況断面へのすり付け



裂 劑	0.9
埋 展	0.4
法面整形	10.8

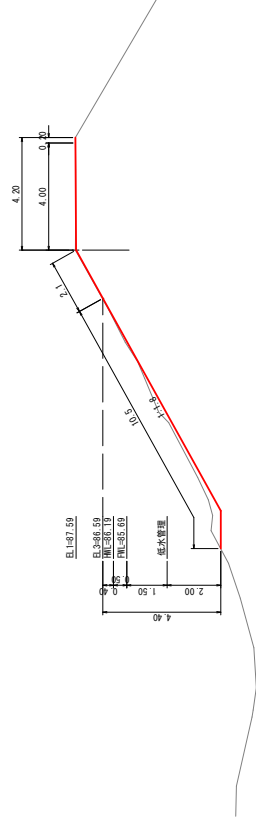
覆 州	0.9
埋 展	0.3
法面整形	12.0

 $DL = 75,00$

DL=75,00

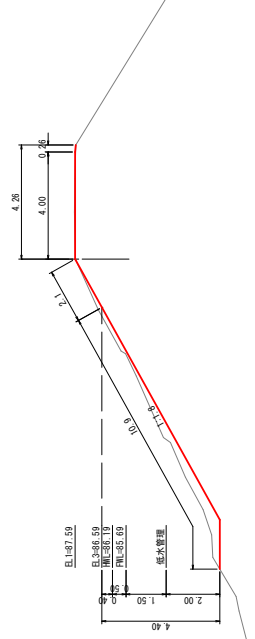
工事名	瀬戸内海大規模環境造成工事			
図面名	計画横断面図 (1/2)			
作図年月日	令和 8 年 月 日		図面番号	3 / 8
縮尺	1:100			
食店名	広島県土地改良事業団体連合会			
事業所名	竹 原 市			

断面図 (2/2)



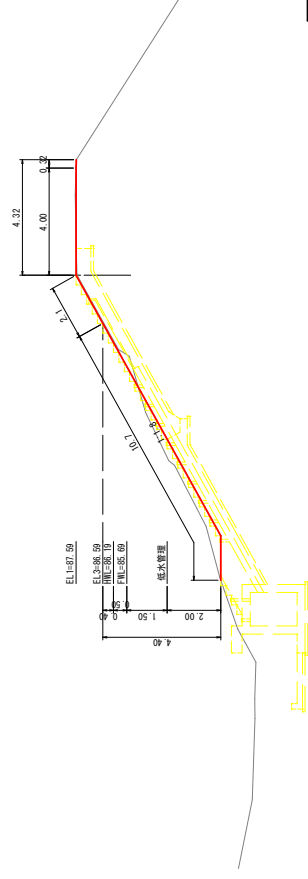
選 劑	1.4
埋 戻	-
法面整形	12.6

DL=75.00



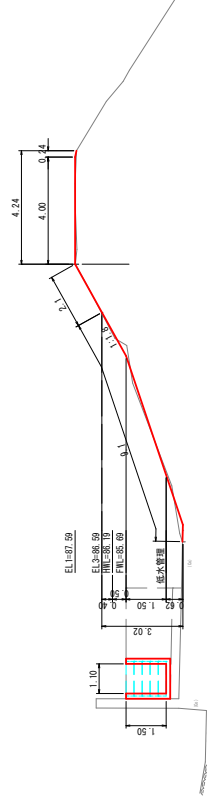
冠 州	2.8
埋 展	-
法面整形	13.0

DL=75.00



冠 剛	2.0
埋 戻	0.4
法面整形	12.8

DL=75,00



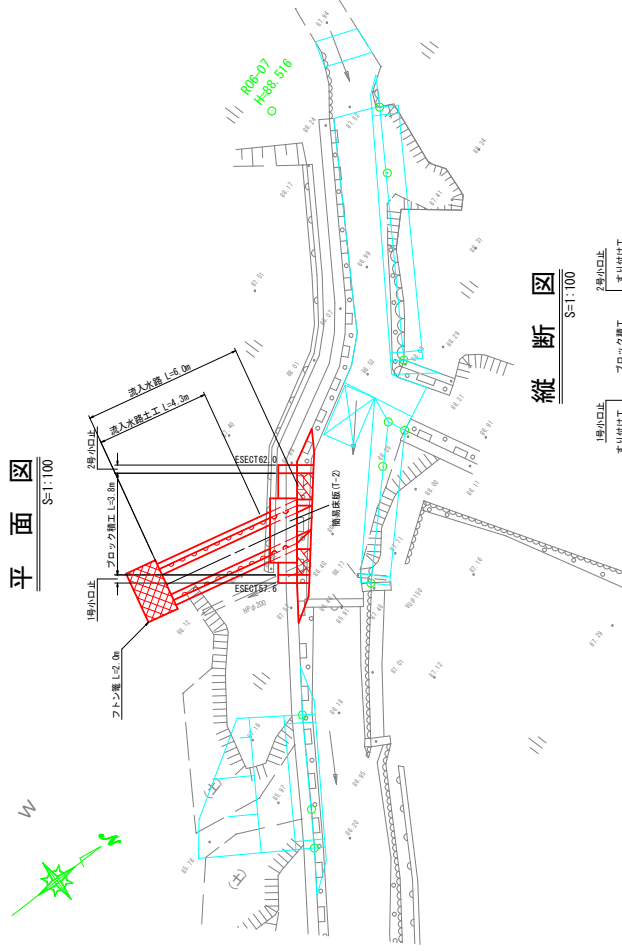
冠 剛	0.3
埋 戻	0.3
法面整形	11.2

DL=75,00

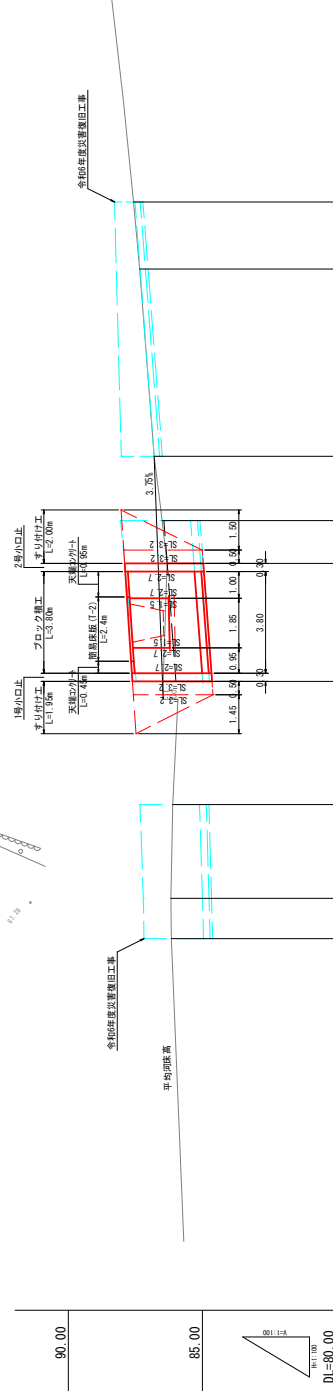
工事名	湖元汽水炭酸瓶製造機強化工事		
図面名	計画横断面図 (2/2)		
作成年月日	令和 8 年 月 日		
縮尺	1:100	図面番号	4 / 8
会社名	広島県土木記念事業団体育会		
事業者名	竹 原 市		

流入水路

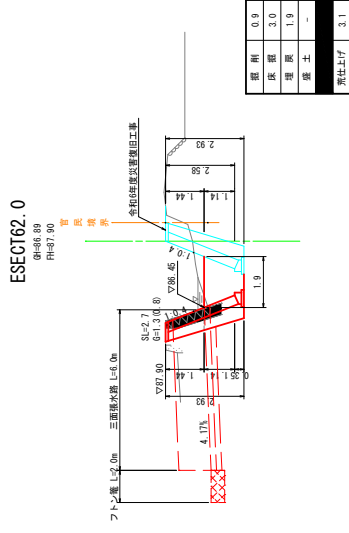
平面图



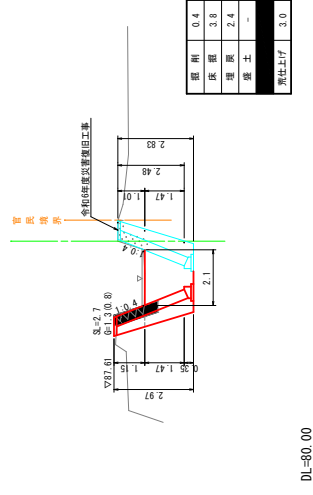
縦断図
S=1:100



横断図
S=1:100



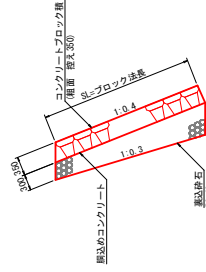
ESECT57.6
GH=87.47
FH=87.47

[illegible]

工事名	瀬戸志清水環境整備強化工事			
図面名	流入水路			
作成年月日	令和 8 年 月 日			
縮尺	1:100	図面番号	5 / 8	
会社名	広島県土木改良事業団体連合会			
事業者名	竹 原 市			

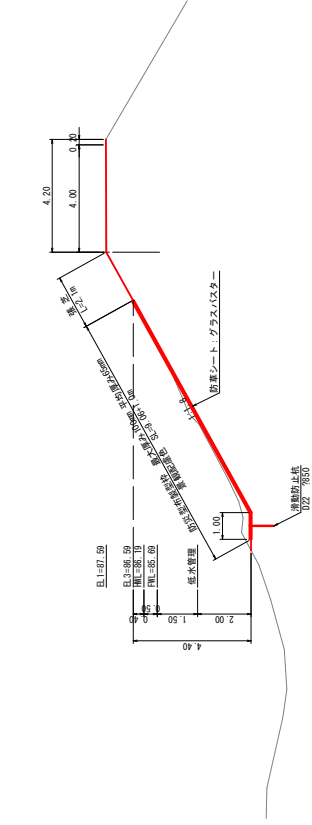
圖 造 構

すり付けエ(ブロック積)

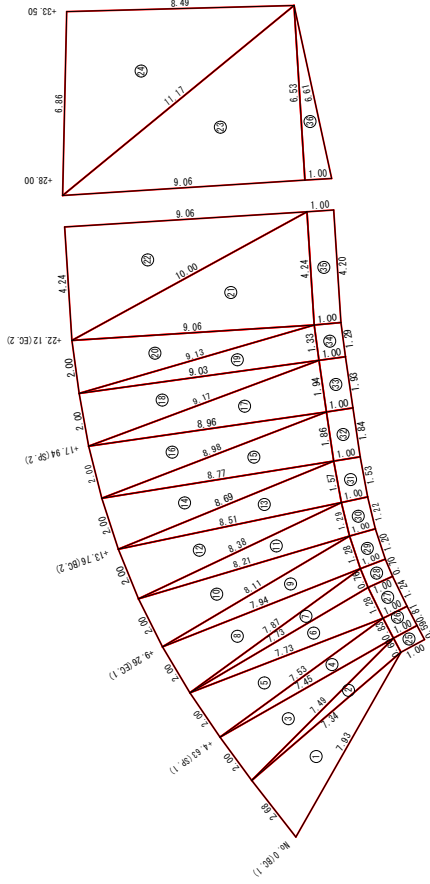


工護保面法

圖面斷準標

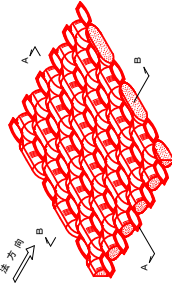


圖開展面法

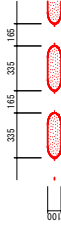


防 災 型 布 製 型 枠

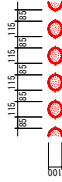
最大厚み100mm 平均厚み65mm (景観配慮色)



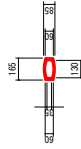
A-A 断面



B-B 断面

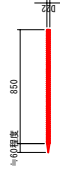


グリーンポイント部



滑動防止杭

022×L850 參考形狀圖



※滑動防止杭D22×L850を16.3m²に1本以上、打ち込むこと。(N値5の場合)

No.	項目名	通 関 料 算 集			項目(42)
		項目(4)	項目(5)	\$	
1	7.63	7.34	2.68	8.975	9.625
2	7.34	7.49	0.60	7.715	2.152
3	7.49	6.75	2.00	8.470	7.401
4	7.45	7.53	0.83	7.965	3.089
5	7.53	7.73	2.00	8.630	7.555
6	7.73	7.73	1.28	8.730	4.800
7	7.73	0.76	7.87	8.180	2.910
8	7.87	2.00	7.94	8.905	7.837
9	7.94	1.28	8.11	8.665	5.074
10	8.11	2.00	8.21	9.160	8.088
11	8.21	1.29	8.38	8.940	5.208
12	8.38	2.00	8.51	9.445	8.368
13	8.51	1.57	8.69	9.335	6.678
14	8.69	2.00	8.77	9.730	8.656
15	8.77	1.96	8.98	9.605	8.156
16	8.98	2.00	8.96	9.970	8.914
17	8.96	1.94	9.17	10.035	8.691
18	9.17	2.00	9.03	10.030	9.023
19	9.03	1.33	9.13	9.745	6.005
20	9.13	2.00	9.06	10.095	9.034

面 積 計 算 表					合 計
No.	32a(㎡)	32b(㎡)	32c(㎡)	\$	
21	9.06	4.24	10.00	11.650	面積(㎡): 19.207
22	10.00	4.24	9.06	11.650	19.207
23	9.06	6.53	11.17	13.380	29.581
24	11.17	6.66	8.49	13.240	26.087
25				0.555	
26				0.819	
27				1.240	
28				0.728	
29				1.239	
30				1.255	
31				1.540	
32				1.850	
33				1.938	
34				1.310	
35				4.222	
36	6.53	6.61	1.00	7.070	3.265
					254.765

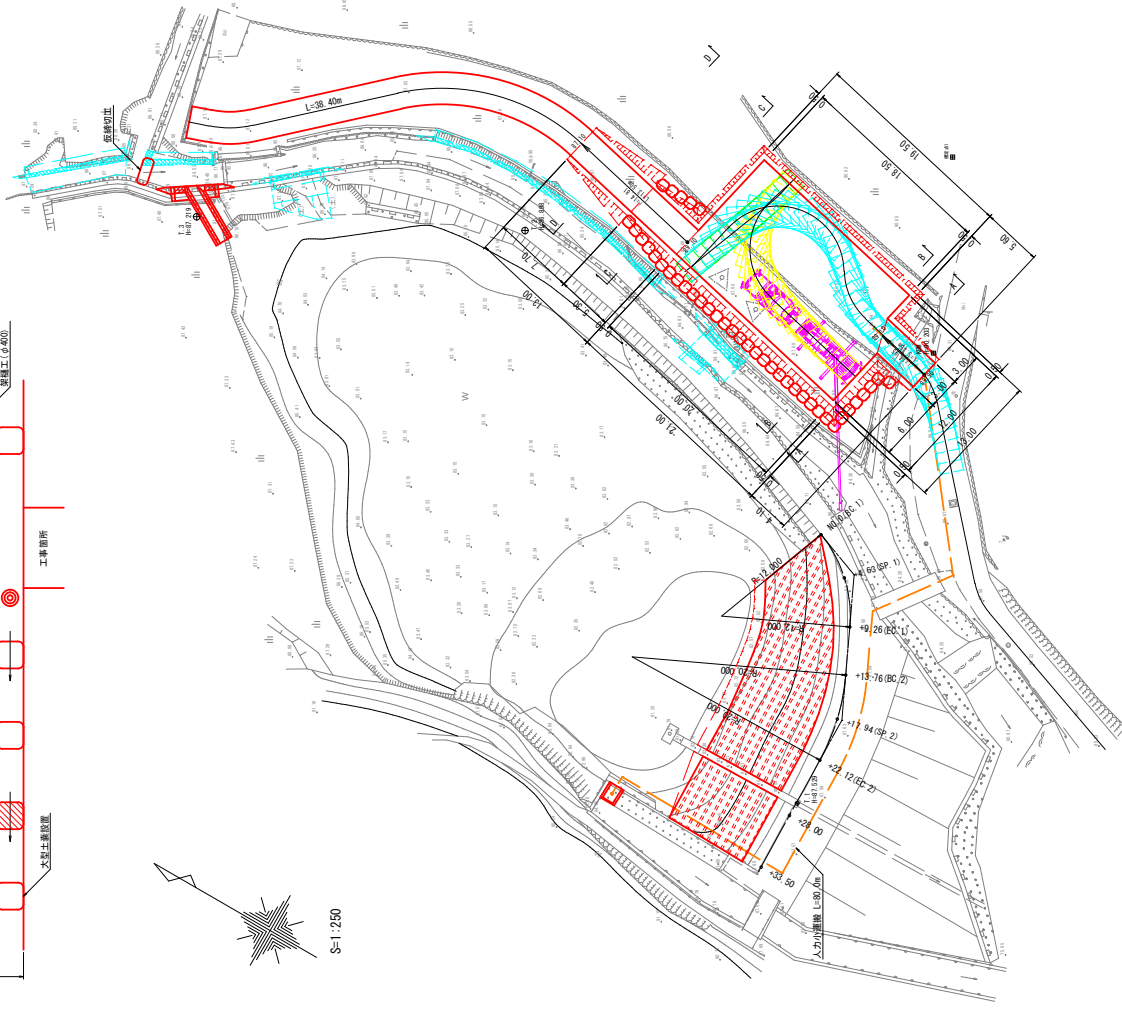
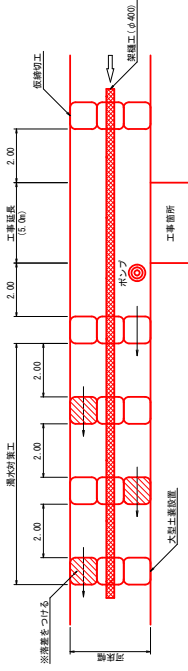
注入モルタルの標準配合

配合種類	セメント 砂比 C:S	水セメント比 (%) W/C	フロー値 (秒)	単位重量 (kg/m ³)			注入材料 (m ³ /100m ²)	備考
				セメント C	骨材 S	水 W		
Ⅲ-3	1:3	70	18±3	461	1383	323	7.8	フロー値測定 ポート

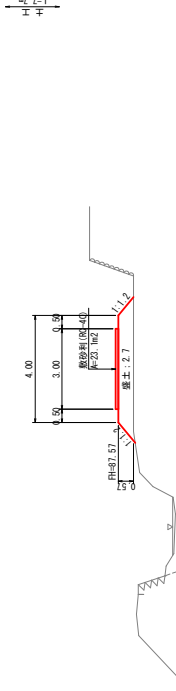
工 事 名	瀾戶老沖水調節池建設強化策進計画補助費配託			
図面名	法面保護工			
作成年月日	令和 8 年 月 日			
縮尺	1:50	図面番号	7 / 8	
会社名	広島県土地改良事業団体連合会			
事業所名	竹 原 市			

反 設 十 画 圖

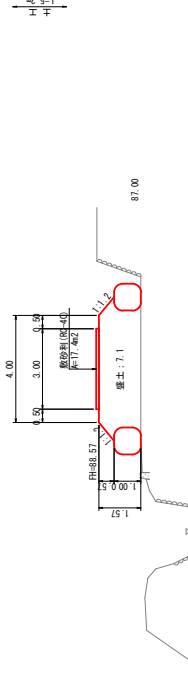
仮締切工・濁水対策工



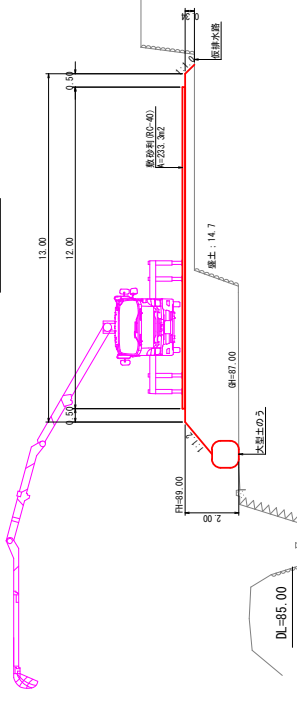
D - D 断面



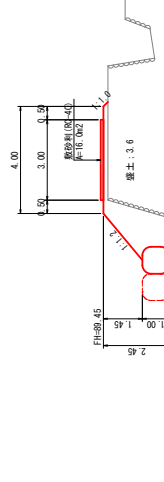
C - C 断面



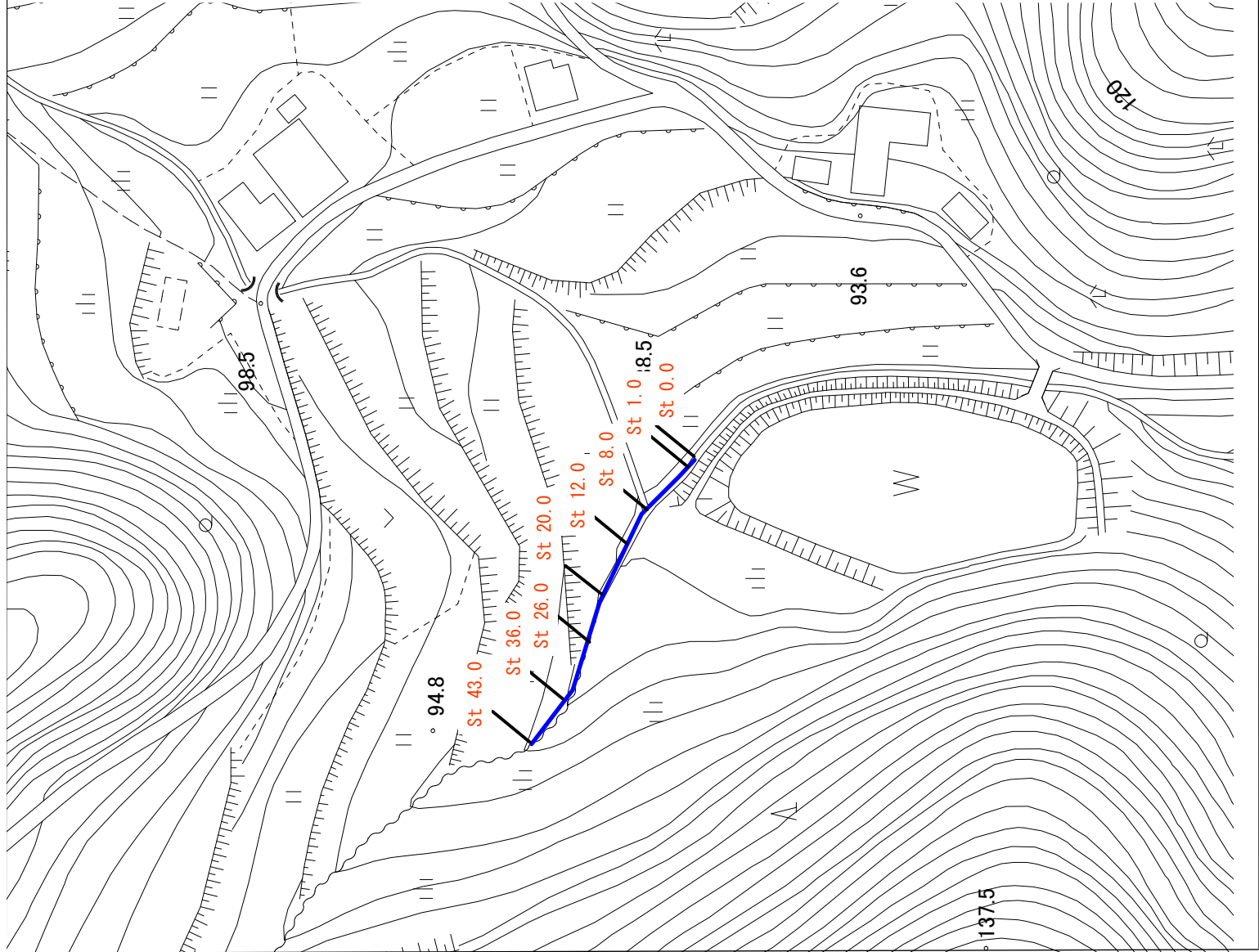
B - B 断面



A - A 断面



工事名	岡山県北地区環境整備事業
図面名	仮設計画図
作成年月日	令和8年 月 日
縮尺	図示
図番	8 / 8
会社名	広島県土木建設業団体連合会
部署名	竹原市



浚渫工事

St 12.0

St 43.0

1.12

St 8.0

0.53

St 36.0

0.15

1.75

St 26.0

St 1.0

0.72

0.05

St 0.0

St 20.0

0.0

120

93.6

94.8

St 43.0

St 36.0

St 26.0

St 20.0

St 12.0

St 8.0

St 1.0

8.5

St 0.0

137.5

0.55

工事名	瀬戸池水調節機能強化工事				
図面名	浚渫工事				
作成年月日	令和	8年	月	日	
縮尺			図面番号		
会社名					
事業所名	竹	原	市		